



請求管理ロボ

---

仕訳連携仕様書(勘定奉行)  
～第2版～



# はじめに

---

## <概要>

・システム上作成されている仕訳の一覧のご確認と会計ソフト連携用  
エクスポートフォーマットの出力が可能です。

※エクスポートフォーマットに関しては、

現状、勘定奉行の他、PCA、弥生会計、freee、MF会計に対応しております。

・システム上作成される仕訳の勘定科目名と補助科目コードの設定が可能です。

請求管理ロボからの仕訳データCSVのエクスポート、  
仕訳ソフトへのインポートにより仕訳の登録を一括で行うことができます。

## <注意事項>

以下機能のご利用をご希望の場合、

別途オプションのご契約が必要でございますので、

ご希望の場合は以下のメールアドレスにお問い合わせをお願い致します。

## <ご連絡先メールアドレス>

support@billing- robo.jp

# 目次

---

- » CSVエクスポート手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- » エクスポートデータの基本仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- » 勘定奉行と請求管理ロボ項目対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5~8
- » 勘定奉行インポート仕様(補足資料)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9~14

# CSVエクスポート手順

管理画面上部タブの仕訳→仕訳伝票エクスポートからエクスポートします。

仕訳伝票エクスポート

伝票日付: 2018/04/01 ~ 2018/04/30

データ作成日: 日付 ~ 日付

エクスポート済み: 未エクスポート

エクスポート

- ①伝票日付 : 会計の計上日付け
- データ作成日 : 仕訳データが作成された日(請求書の作成日or売上計上日)
- エクスポート済み : 既にエクスポートしたデータか未エクスポートのデータ

②上記条件設定を行いエクスポートをクリック

下記のような仕訳ソフトへ連携可能なデータが出力されます。  
(項目フォーマット参照)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	BN	BO	BP	B(
1	OBCD001	CSJS001	CSJS002	CSJS003	CSJS004	CSJS005	CSJS006	CSJS007	CSJS009	CSJS200	CSJS100	CSJS101	CSJS102	
2	*	0	0	1	0	2015/4/1		47	0					
3		0	0	1	0	2015/4/1		47	0					
4		0	0	1	0	2015/4/1		47	0	1				
5		0	0	1	0	2015/4/1		47	0	2				
6		0	0	1	0	2015/4/1		47	0	3				
7		0	0	1	0	2015/4/1		47	0	3				
8		0	0	1	0	2015/4/1		47	0	3				
9		0	0	1	0	2015/4/1		47	0	4				
10		0	0	1	0	2015/4/1		47	0	4				
11		0	0	1	0	2015/4/1		47	0	4				
12		0	0	1	0	2015/4/1		47	0	5				
13		0	0	1	0	2015/4/1		47	0	5				
14		0	0	1	0	2015/4/1		47	0	6				
15		0	0	1	0	2015/4/1		47	0	6				
16		0	0	1	0	2015/4/1		47	0	7				
17		0	0	1	0	2015/4/1		47	0	8				

# エクスポートデータの基本仕様

»出力ファイル名称：kanjyo\_yyyymmdd.csv

»出力フォーマット形式：カンマ（CSV）形式

»文字コード：Shift-JIS

»レコード終端の改行コード：CRLF

»ヘッダ行の有無：有り（受入記号をヘッダ行として出力）

»区切り文字：カンマ区切り

文字型項目は""（ダブルクォート）で囲む or 囲まない どちらでも可  
（カンマ）を文字として扱う場合は""（ダブルコーテーション）で囲む

※仕訳伝票単位でまとめて出力する

※出力順は「1.伝票日付の昇順+2.伝票番号の昇順」の順

## 勘定奉行と請求管理ロボ項目対照表

No.	勘定奉行項目	受入記号	請求管理ロボ対応項目	備考
【伝票区切り情報】				
1	伝票区切	OBCD001	単行伝票の場合、 「*」を必ず出力 複数行伝票の場合、 「*」を先頭行に出力	
【ヘッダー情報】				
2	伝票区分コード	CSJS001	空白	
3	用途区分	CSJS002	空白	
4	部門指定方法	CSJS003	空白	
6	伝票部門コード	CSJS004	固定値「0」	
7	日付	CSJS005	仕訳一覧の伝票日付を YYYY/MM/DD形式で出力	
8	整理区分	CSJS006	空白	
9	伝票No.	CSJS007	仕訳一覧の伝票番号 6桁に満たない場合のみ前0を 付与し出力	
10	伝票入力形式	CSJS009	空白	

No.	勘定奉行項目	受入記号	請求管理ロボ対応項目	備考
11	<b>【明細情報】</b>			
12	<b>借方情報</b>			
13	部門コード	CSJS200	借方_会計ソフト連携用部署コード	利用企業は導入時請求管理ロボに登録したコードの桁数と勘定奉行の桁数をあわせる必要あり
14	勘定科目コード	CSJS201	借方_勘定科目コード	利用企業は導入時請求管理ロボに登録したコードの桁数と勘定奉行の桁数をあわせる必要あり
15	補助科目コード	CSJS202	借方_補助科目コード	利用企業は導入時請求管理ロボに登録したコードの桁数と勘定奉行の桁数をあわせる必要あり
16	税区分コード	CSJS203	借方_消費税コード	
17	税率区分コード	CSJS204	空白	
18	税率	CSJS220	空白	
19	事業区分コード	CSJS205	空白	
20	消費税計算	CSJS206	空白	
21	端数処理	CSJS207	請求元の消費税計算方法により 下記を数値を出力 0：切り上げ 1：四捨五入 2：切り捨て	
22	取引先コード	CSJS208	借方_取引先コード	「会計ソフト連携用取引先コード」を参照
23	セグメント1コード	CSJS209	空白	
24	セグメント2コード	CSJS210	空白	
25	本体金額	CSJS213	借方_金額	
26	消費税額	CSJS214	税込みの場合：空白 税抜きの場合：借方_消費税額	
27	外貨コード	CSJS216	空白	
28	レート	CSJS217	空白	
29	外貨本体金額	CSJS218	空白	
30	外貨消費税額	CSJS219	空白	
31	明細区分1	CSJE201	空白	

No.	勘定奉行項目	受入記号	請求管理口ホ対応項目	備考
32	明細区分 2	CSJE202	空白	
33	明細区分 3	CSJE203	空白	
34	明細区分 4	CSJE204	空白	
35	明細区分 5	CSJE205	空白	
36	明細区分 6	CSJE206	空白	
37	明細区分 7	CSJE207	空白	
38	明細区分 8	CSJE208	空白	
39	明細区分 9	CSJE209	空白	
40	明細区分10	CSJE210	空白	
41	<b>貸方情報</b>			
42	部門コード	CSJS300	貸方_請求元部署コード	利用企業は導入時請求管理口ホに登録したコードの桁数と勘定奉行の桁数をあわせる必要あり
43	勘定科目コード	CSJS301	貸方_勘定科目コード	利用企業は導入時請求管理口ホに登録したコードの桁数と勘定奉行の桁数をあわせる必要あり
44	補助科目コード	CSJS302	貸方_補助科目コード	利用企業は導入時請求管理口ホに登録したコードの桁数と勘定奉行の桁数をあわせる必要あり
45	税区分コード	CSJS303	貸方_消費税コード	
46	税率区分コード	CSJS304	空白	
47	税率	CSJS320	空白	
48	事業区分コード	CSJS305	空白	
49	消費税計算	CSJS306	空白	
50	端数処理	CSJS307	請求元の消費税計算方法により 下記を数値を出力 0：切り上げ 1：四捨五入 2：切り捨て	
51	取引先コード	CSJS308	貸方_取引先コード	
52	セグメント 1 コード	CSJS309	空白	

No.	勘定奉行項目	受入記号	請求管理口术対応項目	備考
53	セグメント2コード	CSJS310	空白	
54	本体金額	CSJS313	貸方_金額	
55	消費税額	CSJS314	税込みの場合：空白 税抜きの場合：貸方_消費税額	
56	外貨コード	CSJS316	空白	
57	レート	CSJS317	空白	
58	外貨本体金額	CSJS318	空白	
59	外貨消費税額	CSJS319	空白	
60	明細区分1	CSJE301	空白	
61	明細区分2	CSJE302	空白	
62	明細区分3	CSJE303	空白	
63	明細区分4	CSJE304	空白	
64	明細区分5	CSJE305	空白	
65	明細区分6	CSJE306	空白	
66	明細区分7	CSJE307	空白	
67	明細区分8	CSJE308	空白	
68	明細区分9	CSJE309	空白	
69	明細区分10	CSJE310	空白	
70	<b>摘要など</b>			
71	摘要	CSJS100	請求書番号	yyyymm-請求先コード-連番
72	付箋色	CSJS101	空白	
73	付箋文字	CSJS102	空白	

# 勘定奉行インポート仕様

項目名	受入記号	桁数	種別	必須	備考
<b>【伝票区切り情報】</b>					
伝票区切	OBCD001	1	文字	◎	「*」 各伝票の1明細目に必ず付けます。
<b>【ヘッダー情報】</b>					
伝票区分コード	CSJS001	2	数字		空白データを受け入れた場合は、「通常伝票」が設定されます。
用途区分	CSJS002	2	数字		0：振替伝票 1：部門別実績配賦伝票 9：為替換算伝票 10：データ領域合算伝票 11：確定残高振替伝票  空白データを受け入れた場合は、「振替伝票」が設定されます。
部門指定方法	CSJS003	1	数字		0：伝票単位 1：勘定科目単位  明細行ごとの部門指定ではなく、1伝票内のすべての明細行で同じ部門を指定する場合は、「0：伝票単位」に設定します。  空白データを受け入れた場合は、「勘定科目単位」が設定されます。
伝票部門コード	CSJS004	1～15	英数カナ	△	桁数は、桁数設定（[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで設定）の設定によって異なります。  この項目は、以下のいずれかに該当する場合だけ、設定します。 ・付番基準（[会計期間設定]メニューの[伝票設定]ページで設定）が「1：部門別」の場合 ・項目「部門指定方法」が「0：伝票単位」の場合  空白データを受け入れた場合は、「その他部門」が設定されます。
日付	CSJS005	11	文字	◎	形式は、表紙の「日付項目について」をご参照ください。
整理区分	CSJS006	1	数字		0：日常仕訳 1：整理仕訳 2：振戻仕訳  空白データを受け入れた場合は、「0：日常仕訳」が設定されます。
伝票No.	CSJS007	6～15	英数カナ		桁数は、伝票No.桁数（[会社運用設定]メニューの[伝票設定]ページで設定）の設定によって異なります。  データ上のNo.を使用する設定の場合、空白データを受け入れた場合は、伝票番号なしに設定されます。
伝票入力形式	CSJS009	1	数字		0：通常入力 1：借方固定入力 2：貸方固定入力  空白データを受け入れた場合は、「0：通常入力」が設定されます。

項目名	受入記号	桁数	種別	必須	備考
【明細情報】					
借方情報					
部門コード	CSJS200	1～15	英数カナ		桁数は、桁数設定（[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで設定）の設定によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、「その他部門」が設定されます。
勘定科目コード	CSJS201	3～10	英数	◎	桁数は、桁数設定（[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで設定）の設定によって異なります。
補助科目コード	CSJS202	1～10	英数		桁数は、桁数設定（[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで設定）の設定によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、「その他補助科目」が設定されます。
税区分コード	CSJS203	4	数字		空白データを受け入れた場合は、勘定科目か補助科目の初期値か、部門別税区分（[部門別税区分表示設定]メニューで設定）が設定されます。
税率区分コード	CSJS204	4	数字		※平成26年4月より、1つ下の「税率」項目が追加されました。当項目は、今まで「税率区分コード」をお使いのお客様のための受入項目です。  ※この項目は、通常取引伝票だけを受け入れる場合は、受入項目として追加する必要はありません。伝票日付に応じて新・旧税率（8%・5%）を自動判定します。  【参考】 経過措置の取引伝票も受け入れる場合は、受入記号「CSJS204」を受入項目として追加し、「2」を指定します。（2：5.0%）  1：3.0% 2：5.0% 3：8.0%
税率	CSJS220	4	数字		※この項目は、通常取引伝票だけを受け入れる場合は、受入項目として追加する必要はありません。伝票日付に応じて新・旧税率（8%・5%）を自動判定します。  【参考】 経過措置の取引伝票も受け入れる場合は、受入記号「CSJS220」を受入項目として追加し、「5.0」または「5」と設定します。詳細は、欄外の【税率を設定するケース】をご参照ください。
事業区分コード	CSJS205	4	数字		整数2桁 小数1桁 空白データを受け入れた場合は、勘定科目か補助科目の初期値が設定されます。  ※原則課税の場合は、必要ありません。
消費税計算	CSJS206	1	数字		0：しない 1：税抜金額からの計算 2：税込金額からの計算 123 空白データを受け入れた場合は、以下が設定されます。 「消費税額」が空欄またはスペース⇒0：しない 「消費税額」に数値が入力されている⇒1：税抜金額からの計算  「税込金額からの計算」の場合だけ、受入時にシステム側で、消費税の自動計算をさせることができます。  【例】 欄外の【消費税の計算例】をご参照ください。

項目名	受入記号	桁数	種別	必須	備考
端数処理	CSJS207	1	数字		0：切り上げ 1：四捨五入 2：切り捨て 空白データを受け入れた場合は、勘定科目か補助科目の初期値が設定されます。
取引先コード	CSJS208	1～13	英数カナ		桁数は、桁数設定（[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで設定）の設定によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、「その他取引先(=取引先なし)」が設定されます。
セグメント1コード	CSJS209	1～20	英数		この項目は、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できます。 桁数は、桁数設定（[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで設定）の設定によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、「その他セグメント1(=セグメント1なし)」が設定されます。
セグメント2コード	CSJS210	1～20	英数		この項目は、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できます。 桁数は、桁数設定（[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで設定）の設定によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、「その他セグメント2(=セグメント2なし)」が設定されます。
本体金額	CSJS213	13	数字	◎	マイナスも可 ※形式は、表紙の「金額データの受け入れ」をご参照ください。
消費税額	CSJS214	13	数字		マイナスも可 消費税計算を「2：税込金額からの計算」にした場合、この欄を空欄またはスペースを設定することで、受入時にシステム側で、消費税の自動計算をさせることができます。 【例】 欄外の【消費税の計算例】をご参照ください。 ※消費税計算を「0：しない」にした場合、消費税額をセットしていても、消費税は計上されません。 ※形式は、表紙の「金額データの受け入れ」をご参照ください。
外貨コード	CSJS216	1～3	英数		この項目は、『外貨入力オプション』をお使いの場合に使用できます。 桁数は、桁数設定（[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで設定）の設定によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、「0：外貨未指定」が設定されます。
レート	CSJS217	1～10	数字		この項目は、『外貨入力オプション』をお使いの場合に使用できます。 整数1～4桁 小数0～5桁 ※小数部分の桁数は、レート小数桁数（[外貨登録]メニューで設定）の設定によって異なります。 外貨コードで「0：外貨未指定」以外が設定されている場合は、レートの受入記号がないデータを受け入れることはできません。 空白データを受け入れた場合は、「0」が設定されます。

項目名	受入記号	桁数	種別	必須	備考
外貨本体金額	CSJS218	14	数字		<p>この項目は、『外貨入力オプション』をお使いの場合に使用できます。</p> <p>整数11桁 小数2桁 マイナスも可</p> <p>この項目(外貨本体金額)の金額をもとに、「本体金額(円貨)」の自動計算はしません。「本体金額(円貨)」もセットします。</p> <p>外貨コードで「0:外貨未指定」以外が設定されている場合は、外貨本体金額の受入記号のないデータは受け入れることはできません。 空白データを受け入れた場合は、「0」が設定されます。</p> <p>※形式は、表紙の「金額データの受け入れ」をご参照ください。</p>
外貨消費税額	CSJS219	14	数字		<p>この項目は、『外貨入力オプション』をお使いの場合に使用できます。</p> <p>整数11桁 小数2桁 マイナスも可</p> <p>消費税計算を「2:税込金額からの計算」、国内取引の外貨計上を「1:外貨計上する」([会計期間設定]メニューの[伝票設定]ページで設定)にした場合、この欄を空欄またはスペースを設定することで、受入時にシステム側で、消費税の自動計算をさせることができます。</p> <p>※消費税計算を「0:しない」にした場合、外貨消費税額をセットしていても、消費税は計上されません。</p> <p>※形式は、表紙の「金額データの受け入れ」をご参照ください。</p>
明細区分1	CSJE201	1~20	英数カナ		
明細区分2	CSJE202	1~20	英数カナ		
明細区分3	CSJE203	1~20	英数カナ		
明細区分4	CSJE204	1~20	英数カナ		
明細区分5	CSJE205	1~20	英数カナ		この項目は、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できます。
明細区分6	CSJE206	1~20	英数カナ		桁数は、桁数設定([明細区分種類登録]メニューの[コード桁数]で設定)の設定によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、「その他明細区分(=明細区分なし)」が設定されます。
明細区分7	CSJE207	1~20	英数カナ		受入記号「CSJE200」の「00」は、明細区分種類の[No.]の数字が入ります。 【例】
明細区分8	CSJE208	1~20	英数カナ		欄外の【明細区分と受入記号との関連付け】をご参照ください。
明細区分9	CSJE209	1~20	英数カナ		
明細区分10	CSJE210	1~20	英数カナ		

項目名	受入記号	桁数	種別	必須	備考
-----	------	----	----	----	----

**貸方情報**

部門コード	CSJS300	1～15	英数カナ		詳細については、借方情報と同様です。
勘定科目コード	CSJS301	3～10	英数	◎	
補助科目コード	CSJS302	1～10	英数		
税区分コード	CSJS303	4	数字		
税率区分コード	CSJS304	4	数字		
税率	CSJS320	4	数字		
事業区分コード	CSJS305	4	数字		
消費税計算	CSJS306	1	数字		
端数処理	CSJS307	1	数字		
取引先コード	CSJS308	1～13	英数カナ		
セグメント1コード	CSJS309	1～20	英数		
セグメント2コード	CSJS310	1～20	英数		
本体金額	CSJS313	13	数字	◎	
消費税額	CSJS314	13	数字		
外貨コード	CSJS316	1～3	英数		
レート	CSJS317	1～10	数字		
外貨本体金額	CSJS318	14	数字		
外貨消費税額	CSJS319	14	数字		
明細区分1	CSJE301	1～20	英数カナ		
明細区分2	CSJE302	1～20	英数カナ		
明細区分3	CSJE303	1～20	英数カナ		

項目名	受入記号	桁数	種別	必須	備考
明細区分4	CSJE304	1～20	英数カナ		詳細については、借方情報と同様です。
明細区分5	CSJE305	1～20	英数カナ		
明細区分6	CSJE306	1～20	英数カナ		
明細区分7	CSJE307	1～20	英数カナ		
明細区分8	CSJE308	1～20	英数カナ		
明細区分9	CSJE309	1～20	英数カナ		
明細区分10	CSJE310	1～20	英数カナ		

### 摘要など

摘要	CSJS100	40	文字		
付箋色	CSJS101	1	数字		0：赤 1：青 2：黄 3：橙 4：緑 5：紫
付箋文字	CSJS102	400	文字		

### 【条件によって値が反映されない項目】

以下の項目は、条件によって、値を設定していても反映されません。

項目名	条件
事業区分コード	「税区分コード」が課税の対象外の場合
消費税額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「税区分コード」が課税の対象外の場合</li> <li>・消費税科目（仮払消費税・仮受消費税）の場合</li> </ul>